

各位

2022 年 3 月吉日

マルソー産業株式会社

〒800-0115

北九州市門司区新門司 3 丁目 60 番 2 号

Tel: 093-481-1122 / Fax: 093-481-3639

プラスチック資源循環促進法関連のご案内

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2022 年 4 月 1 日より施行されるプラスチック資源循環促進法に関連して、弊社商品やプラスチック代替素材について、お問い合わせを多くいただいておりますので、下記の通りご案内させていただきます。

敬具

記

【弊社商品について】

弊社クリーニング用商品はバージンプラスチックと比較して、環境負荷の少ない再生プラスチックを主に使用しており、2021 年実績で総出荷数の約 96%が再生プラスチックとなっております。また、繰り返し使用に耐えうる商品設計を行うことでリユース（再利用）率を高め、ホームクリーニング用ハンガーはポリプロピレン（PP）の単一素材とすることでリサイクル（再資源化）率を高めており、資源循環型の商品となっております。

（弊社ホームページに商品別の重量と再生プラスチック比率を掲載しております。記載の無い商品につきましては、弊社営業部へお問い合わせをお願いいたします。）

【プラスチック代替素材等について】

プラスチック代替素材として、農業廃材・紙等の異素材をプラスチックに混ぜた新素材のトライを継続して行っておりますが、クリーニング用ハンガーとしては耐熱強度・耐溶剤性・コスト・供給量・臭い等の問題があります。

バイオマスプラスチックについては、クリーニング用フィルムに適しているポリエチレン（PE）の流通はあるものの、クリーニング用ハンガーに適しているポリプロピレン（PP）の流通は略無いのが現状です。

一般的に PP に他のプラスチックや異素材を混ぜると、複合素材が故にリサイクルの困難さを招くことがあります。また、脆くなる傾向があり、クリーニング用ハンガーに使用するとリユース率が低下することが懸念されます。

引き続き、環境に配慮した素材の選定や開発テストを行なってまいります。現状では 100% 再生 PP がクリーニング用ハンガーに最も適していると判断しております。

裏面の「各種プラスチック原料の特徴」をご参照ください。

以上

各種プラスチック原料の特徴

	バージン ポリプロピレン	再生 ポリプロピレン	バイオマス ポリエチレン	生分解性 プラスチック	紙・無機物添加 プラスチック	プラスチック被膜付 針金ハンガー
温室効果ガス 排出量	×	◎ 0.24kg-CO2e/kg	△ 1.35kg-CO2e/kg *廃棄焼却時は0	不明 混合物や混合比率により 変化	不明 混合物や混合比率により 変化	不明
生分解性	×	×	×	○ 製品厚みや 分解環境に制約あり	不明 混合物や混合比率により 変化	×
リユース性 (耐久性、強度、ヒ ンジ性等)	◎	◎ 用途毎に開発、バージンを 上回る部分あり	○ ポリプロピレンには 劣る部分あり	△ 経年変化、脆さ、 ヒンジ性に不安	△ 脆さ、ヒンジ性に不安	×
コスト	△	○	×	×	×	◎
市場流通量	◎ 2017年国内プラの 22.18%	○ 国内プラ消費量に左右さ れるが、必要十分	×	×	×	-
リサイクル性 (再原料化)	◎ 素材流通量多く、再生事 業所も全国にあり	◎ 素材流通量多く、再生事 業所も全国にあり	○ 廃棄焼却時のメリットが 減少	×	×	×
廃棄方法	再原料化可能	再原料化可能	再原料化可能	一般廃棄物	一般廃棄物	一般廃棄物

プラスチック部分の分別、
再原料化は難しい

紙やプラとして
再生不可能